

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②				
巡回・窓口相談指導事業	小規模事業者を中心に職員が巡回訪問し、税務・労務・金融相談などの指導を行うことにより、企業育成をするとともに、経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	巡回指導 実企業数 198 延企業数 560 窓口指導 実企業数 56 延企業数 76  課題解決提案件数 20	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 63.6%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	20	20	20	20	小規模事業者の良き相談相手として信頼を得ることができたと共に企業の安定に貢献することができた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も巡回・窓口指導の徹底に努める。	○
記帳継続指導	職員が、個人事業主などを対象に、正しい記帳方法の指導、決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力向上に結びつける。	指導回数 671 対象事業所数 45 指導日数 446	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	45	45	45	45	記帳指導事業所に対し経営分析などの助言をし、節税対策に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 A 必要性 B	満足度 A 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	小規模事業者の税務知識向上を図るため今後も引き続き実施する。	
講習会事業	小規模事業者にとって必要な金融・税務等の知識習得及び時事的問題について啓蒙を図り、事業者の資質向上及び円滑な事業運営を資することを目的とする。	集団講習会 4回延76名 内経営革新セミナー1回 参加者29名  個別講習会 39回延112名	小規模事業者	指標	講習会開催回数 (達成度 107.5%)	指標	(達成度 %)	40	43	43	43	講習会を通じ、小規模事業者の資質向上や時事的問題に対する理解度を高めることができた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 C	満足度 B 必要性 C	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も小規模事業者の資質向上のため引き続き実施する。	
地域振興祭事業（そぶえイチョウ黄葉まつり）	そぶえイチョウ黄葉まつりを開催することにより、広く住民に産業・福祉・健康等についての関心・理解を深めて頂き、必要性を考える機会や場を提供する。晩秋になると黄金色に染まったイチョウの木の立ち並んだ風景を町外の方にもご覧いただき、イチョウの町稲沢市祖父江町としてのPRに努め、地域の活性化を図る。	体育館会場 11月23, 24日 山崎会場 11月23日～12月2日 事業内容 企業展、特産品販売、各種アトラクション開催、写真・俳句・写生コンテストの開催、イチョウの木ライトアップなど	地域商工業者	指標	来場者数 (達成度 135.9%)	指標	(達成度 %)	200,000	271,750	271,750	271,750	マスコミ等を利用してPRすることにより、多数のまつり観光客が祖父江町の魅力を感じてもらい、地域活性化に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後もマスコミ等を利用して、まつりを通じて地域活性化に繋げる。	
青年部・女性部事業	部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	定例会の実施 青年部 9回 女性部 5回 青年部 チャリティゴルフ開催 視察研修会の開催 女性部 各種講習会などの開催 視察研修会の開催	青年部員 女性部員	指標	部員数 (達成度 106.7%)	指標	(達成度 %)	45	48	48	48	定例会や研修会を行うことで部員相互の親睦を深め、イベント等を通じて地域との関わりを持つことにより地域社会の発展に貢献することができた。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 B	満足度 B 必要性 B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	部員間交流や社会福祉を通じて地域活性化を図るため今後も引き続き実施する。	
部会・委員会事業	商工業部会・小規模企業振興委員会などの部会・委員会活動を行い、部会・委員会参加企業の発展に資することを目的とする。	商工業部会 プレミアム商品券発行事業  平和町商工会・稲沢商工会 議事との共同事業 発行総額 4億4000万円 (内プレミアム分 4000万円)  商工業部会、工業部会 合同視察研修会の開催 1回	商工業各部員 小規模企業振興委員	指標	構成員数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	31	31	31	31	商品券を発行することにより市内での購買意欲が増し、地域活性化に繋がることができた。また視察研修を行うことにより各部員間の情報交換及び交流が図れた。	総合評価	A	事業実施評価 自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 満足度 B 必要性 C	満足度 B 必要性 C	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	商工業部会を通じて各企業の発展に努める。	
福利厚生事業	小規模事業者の経営・雇用の持続的な安定を図るため、各種共済制度の普及など、企業の健全な育成に資することを目的とする。	共済加入事業所数 204 親睦ゴルフ大会参加者数 27 年末懇親会参加者数 46	小規模事業者	指標	共済加入事業所数 (達成度 97.1%)	指標	(達成度 %)	210	204	204	204	各種共済制度を普及することにより経営の安定化が図れた。また福利厚生事業を通じ、会員相互の交流ができた。	総合評価	B	事業実施評価 自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 満足度 B 必要性 C	満足度 B 必要性 C	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	共済制度普及や福利厚生事業を通じ、会員間交流を深めるため、今後も引き続き実施する。	

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 祖父江町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考				
				目標①			目標②			得られた効果			ABCD評価				今後の展開・改善点等			
労働保険事業	労働保険料の申告納付、その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	各種雇用保険関係手続き年度更新などの事務代行 労働保険未加入事業所への加入推進実施 自己財源の確保	委託事業所	指標	委託事業者数 (達成度 82.6 %)			指標	(達成度 %)			委託事業所の労働保険に伴う事務代行を行うことにより事務量の軽減や信頼関係が得られた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後も引き続き委託事業所の増加を目指す。
				目標数値	23	実績数値	19	目標数値	実績数値	目標達成度	B				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
										B	C				現行どおり					
税務関係団体指導事業 青色申告会 一宮法人会 祖父江支部 一宮間税会 祖父江地区	税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助となり、商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会 総会、役員会3回 法人会 総会、役員会2回 間税会 総会	税務関係団体 会員事業所	指標	税務関係団体会員事業所数 (達成度 89.0 %)			指標	(達成度 %)			各会事業を通じて、会員間交流、社会貢献、企業発展などに繋がった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	税務知識向上のため、今後も引き続き実施する。
				目標数値	272	実績数値	242	目標数値	実績数値	目標達成度	B				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
										B	B				現行どおり					
産業団体	産業団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展のための一助となり、商工業の活性化に資することを目的とする。	各団体総会の実施 ぎんこなっちゃん運営協議会 イベント出席回数 2回 交通安全協会祖父江分会 交通安全啓発活動ほか (毎月0の日の街頭指導)	小規模事業者 等	指標	構成員数 (達成度 96.1 %)			指標	(達成度 %)			各種団体活動を行うことにより、意欲向上、経営安定化、社会貢献などに繋がった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	経営安定化や社会貢献のため、今後も引き続き実施する。
				目標数値	233	実績数値	224	目標数値	実績数値	目標達成度	B				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
										B	C				現行どおり					
若手後継者等育成事業 青年部の資質向上及びネットワーク構築事業	現在、青年部はマニュアル化した事業を取り組んでいる傾向にあり、新規事業活動は停滞気味である。また、新規会員獲得が課題となっている。そこで、部員数増加の糸口を掴むために、商工会全国大会への参加及び部員の資質向上のためのセミナーを開催する。	青年部資質向上セミナー開催 開催日 1月17日 参加者 24名 商工会全国大会参加 青年部正副部長 2名 女性部部長 1名	青年部員	指標	事業参加者数 (達成度 54.0 %)			指標	満足度調査（アンケート調査）を行いアンケート総数のうち、高評価を占める割合 (達成度 142.9 %)			青年部資質向上セミナーを開催したことにより、部員一人一人が向上心を持つことができた。また、全国大会に参加し、各都道府県の商工会と交流したことにより、今後の青年部活動の参考になった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	今後も青年部活動を盛り上げていくような事業を実施していく。 単年度事業
				目標数値	50	実績数値	27	目標数値	70	実績数値	100				目標達成度	A	必要性	現行どおり	現行どおり	
															B	B	現行どおり	現行どおり		
伴走型小規模事業者支援推進事業	事業計画策定支援を通じて、小規模事業者の経営体質および財務の強化改善を図りつつ管内企業全体の経済力の底上げをめざし、実践型の伴走型支援実施のためのフレームワーク構築を目的とする。	事業計画策定セミナー4回開催 延72名参加 専門家による個別相談 30件 専門家フォローアップ 10件 職員フォローアップ 随時実施	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 140.0 %)			指標	(達成度 %)			事業計画策定セミナーや専門家による個別相談、フォローアップを実施することにより、小規模事業者の抱える課題が浮き彫りになり、課題に対して事業計画を策定することにより経営体質改善やモチベーション向上に繋がった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度以降も実践型の伴走型支援を実施する。 単年度事業
				目標数値	80	実績数値	112	目標数値	実績数値	目標達成度	B				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
										A	B				現行どおり					
地域産業 活性化事業 「CSV戦略型イチョウ・銀杏エコプロダクツ化事業」	今年度は、イチョウの葉と果肉、剪定枝等を活用した商品開発により、地域課題の解消を目指すことで、公益を増進しつつ、地域資源「祖父江ぎんなん」を活用した新マーケットの開拓と地域経済の牽引を目指す。	事業推進委員会 2回 作業部会 2回 事務局会議 5回 先進地視察 9月6～7日 東京ビッグサイト展 2月11～15日 開発商品 イチョウ業エキスリキッド イチョウフレグランス オイルキャンドル イチョウの衣類防虫剤	地域商工業者	指標	開発商品数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			各会議、先進地視察、ビッグサイト展を行うことにより、商品に対する率直な意見を聞くことができた。その意見を活かしながら商品開発等を実施した。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	次年度は調査研究事業を実施予定。 単年度事業
				目標数値	3	実績数値	3	目標数値	実績数値	目標達成度	A				必要性	現行どおり	実施方法①	実施方法②		
										A	C				現行どおり					

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。